

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

自己点検報告書

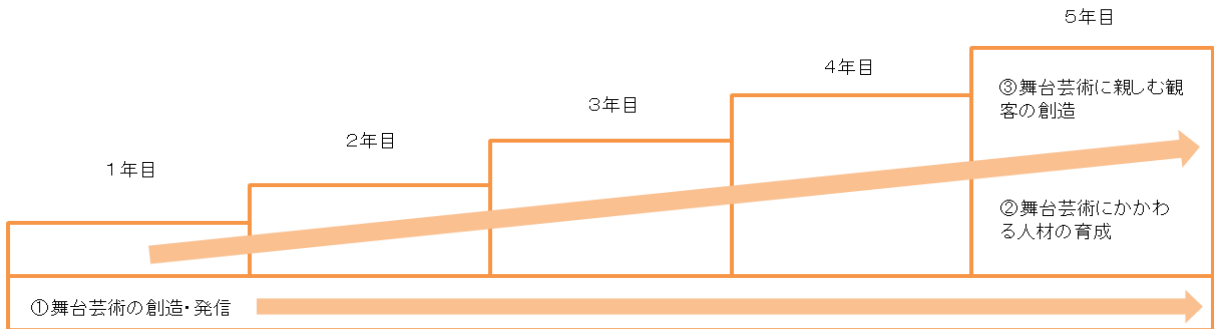
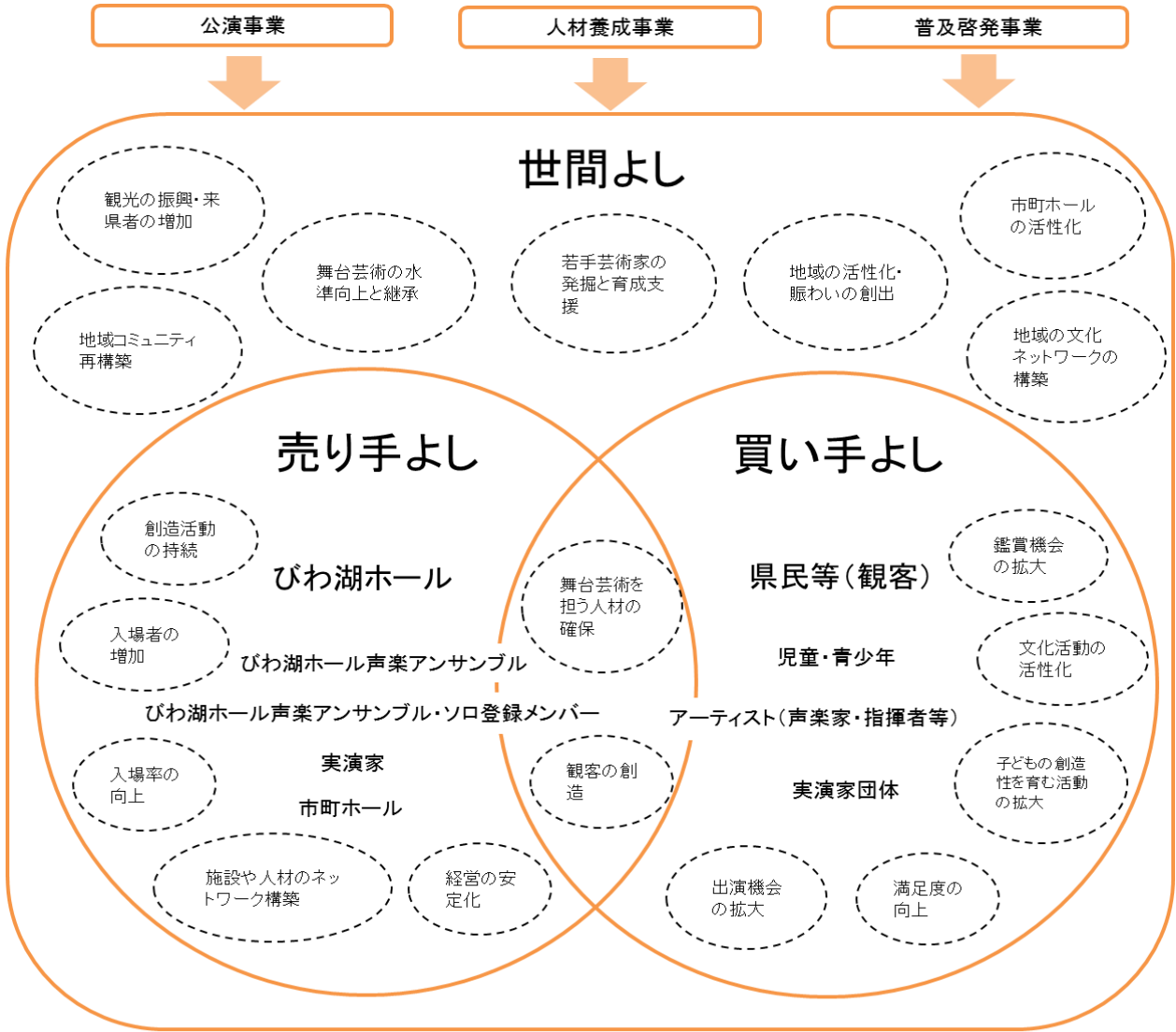
団 体 名	公益財団法人びわ湖芸術文化財団
施 設 名	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
助成対象活動名	びわ湖ホール三方よし創造実践事業
助 成 期 間	5 (年間)
内 定 額	54,425 (千円)

事業概要

(1) 事業計画の概要

全体図（概念図）

近江商人の発祥の地、滋賀では、近江商人が商売の心得とした「三方よし」「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」を三つの「よし」とし、売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのがよい商売であるということの精神が息づいています。
 びわ湖ホールは、この「三方よし」になぞらえて、売り手(びわ湖ホール)と買い手(県民をはじめとする観客)がともに満足し、また世間よし(地域の活性化、舞台芸術の水準向上と継承)を目指し、「①舞台芸術の創造・発信」「②舞台芸術にかかわる人材育成」「③舞台芸術に親しむ観客の創造」を目標に公演事業および人材養成事業、普及啓発事業に取り組みます。



公演事業

人材養成事業

普及啓発事業

2018年度

- ・プロデュースオペラ「ジークフリート」
- ・英国バーミンガム・ロイヤルバレエ
- ・フィリップ・ドックフレ/DCA
- ・ジルヴェスター・コンサート2018-2019
- ・スタンウェイ“ピノ”シリーズvol.5

- ・沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅣ
- ・イタリア声楽曲研修Ⅰ
- ・舞台技術研修

- ・地域協働公演オペラ「森は生きている」
- ・びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！
- ・子どものための管弦楽教室 第15回
- ・気軽にクラシック
- ・アンサンブルの楽しみ～演奏家のつどい～vol.10
- ・ロビーコンサート
- ・各種講座
- ・ふれあい音楽教室
- ・学校巡回公演
- ・バックステージツアー

2019年度

- ・プロデュースオペラ「神々の黄昏」
- ・海外招聘バレエ・ダンス
- ・ジルヴェスター・コンサート2019-2020
- ・スタンウェイ“ピノ”シリーズvol.6
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル定期公演
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル東京公演
- ・びわ湖ホール四大テノール 公演

- ・沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅤ
- ・イタリア声楽曲研修Ⅱ
- ・舞台技術研修

- ・地域協働公演
- ・びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！
- ・子どものための管弦楽教室 第16回
- ・気軽にクラシック
- ・アンサンブルの楽しみ～演奏家のつどい～vol.11
- ・ロビーコンサート
- ・各種講座
- ・ふれあい音楽教室
- ・学校巡回公演
- ・バックステージツアー

2020年度

- ・プロデュースオペラ
- ・海外招聘バレエ・ダンス
- ・ジルヴェスター・コンサート2020-2021
- ・スタンウェイ“ピノ”シリーズvol.7
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル定期公演
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル東京公演
- ・びわ湖ホール四大テノール 公演

- ・沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅥ
- ・イタリア声楽曲研修Ⅲ
- ・舞台技術研修

- ・地域協働公演
- ・びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！
- ・子どものための管弦楽教室 第17回
- ・気軽にクラシック
- ・アンサンブルの楽しみ～演奏家のつどい～vol.12
- ・ロビーコンサート
- ・各種講座
- ・ふれあい音楽教室
- ・学校巡回公演
- ・バックステージツアー

2021年度

- ・プロデュースオペラ
- ・海外招聘バレエ・ダンス
- ・ジルヴェスター・コンサート2021-2022
- ・スタンウェイ“ピノ”シリーズvol.8
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル定期公演
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル東京公演
- ・びわ湖ホール四大テノール 公演

- ・沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅦ
- ・フランス歌曲研修Ⅰ
- ・舞台技術研修

- ・地域協働公演
- ・びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！
- ・子どものための管弦楽教室 第18回
- ・気軽にクラシック
- ・アンサンブルの楽しみ～演奏家のつどい～vol.13
- ・ロビーコンサート
- ・各種講座
- ・ふれあい音楽教室
- ・学校巡回公演
- ・バックステージツアー

2022年度

- ・プロデュースオペラ
- ・海外招聘バレエ・ダンス
- ・ジルヴェスター・コンサート2022-2023
- ・スタンウェイ“ピノ”シリーズvol.9
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル定期公演
- ・びわ湖ホール 声楽アンサンブル東京公演
- ・びわ湖ホール四大テノール 公演

- ・沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅧ
- ・フランス歌曲研修Ⅱ
- ・舞台技術研修

- ・地域協働公演
- ・びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！
- ・子どものための管弦楽教室 第19回
- ・気軽にクラシック
- ・アンサンブルの楽しみ～演奏家のつどい～vol.14
- ・ロビーコンサート
- ・各種講座
- ・ふれあい音楽教室
- ・学校巡回公演
- ・バックステージツアー

舞台芸術の創造・発信

(自主制作公演・海外招聘公演の上演)

舞台芸術にかかわる人材育成

(声楽アンサンブル、オペラ指揮者の育成)

舞台芸術に親しむ観客の創造

(青少年や児童の入場者の増加)

びわ湖ホール「三方よし」の実現

(2) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	びわ湖ホールプロデュース オペラ ワーグナー作曲 『ジークフリート』	3月2日、3日	演目：ワーグナー作曲『ジークフリート』、指揮 沼尻竜典、演出 ミヒャエル・ハンペ	目標値	2,672
		大ホール		実績値	3,344
2	英国バーミンガム・ロイヤル バレエ団『眠れる森の美女』	5月13日	演目：眠れる森の美女、主な出演者：佐久間奈緒、厚地康雄、英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団	目標値	1,480
		大ホール		実績値	1,333
3	フィリップ・ドゥクフレ/ DCA「新作短編集(2017)」	7月14日、15日	演出・振付：フィリップ・ドゥクフレ、主な出演者：フィリップ・ドゥクフレ、カンパニーDCA	目標値	912
		中ホール		実績値	725
4	ジルヴェスター・コンサート 2018-2019	12月31日	指揮 沼尻竜典、司会、桂米團治、ヴァイオリン独奏 戸田弥生、管弦楽 大阪交響楽団	目標値	1,530
		大ホール		実績値	1,385
5	スタインウェイ“ピノ”シリーズvol.5ベルカン ティッシモ!	11月23日	ピアノ・解説：園田隆一郎、歌手：松下美奈子、森季子、清水徹太郎、山本康寛	目標値	271
		小ホール		実績値	230
6	沼尻竜典オペラ指揮者 セミナーⅣ	8月1日～3日	講師 沼尻竜典、ピアノ 平塚洋子、湯浅加奈子、管弦楽 大阪交響楽団 ほか	目標値	301
		大ホール		実績値	310
7	イタリア声楽曲研修Ⅰ	5月24日、5月25日	講師：山崎美奈、ピアノ：岡本佐紀子	目標値	110
		小ホール		実績値	163
8	びわ湖ホール舞台技術 研修～人材育成講座～	3月11日～3月16日	演出：ごまのはえ、振付：山田レイ、演技指導：劇団ニットキャップシアター	目標値	180
		大ホール等		実績値	805
9	びわ湖ホール声楽アン サンブル みんなで作ろう! 林光作曲 オペラ『森は 生きている』	11月29日、12月6日、8日、12日	演出：中村敬一、ピアノ：寺嶋陸也、出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル、地域の合唱団	目標値	3,150
		守山市民ホール、他3か所		実績値	2,098
10	びわ湖ホール 音楽会へ出 かけよう! (ホールの子事業)	6月4日、5日、6日、7日、8日、11日	指揮：角田鋼亮、管弦楽：京都市交響楽団、独唱・合唱、びわ湖ホール声楽アンサンブル	目標値	11,000
		大ホール		実績値	9,324
11	子どものための管弦楽 教室 第15回	3月24日	指揮：飯守泰次郎、管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団、独唱：基村昌代、二塚直紀、的場正剛 ほか	目標値	1,003
		大ホール		実績値	851
12	気軽にクラシック	8月20日、12月9日	出演：竹内直紀(8月20日)、Adamサクソフォン四重奏団(12月9日)	目標値	574
		小ホール		実績値	623
13	アンサンブルの楽しみ ～演奏家のつどい～ vol.10	10月14日	公募によるプレイヤー10組、ゲストプレイヤー 松村衣里、中山航介	目標値	223
		小ホール		実績値	260
14	びわ湖ホールロビー コンサート	年間計14回	安永 早絵子(打楽器)、石井楓子、イリーナ・メジューエワ、寺嶋陸也、佐藤卓史、岡本佐紀子、伊藤晴ほか	目標値	2,400
		メインロビー		実績値	3,325

(2) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
15	各講座(舞台芸術講座、オペラ講座、ワークショップ)	年間計12回	講師：青山登志和、東条碩夫、岡田暁生、藤野一夫、田口道子、ほか	目標値	880
		リハーサル室等		実績値	1,754
16	ふれあい音楽教室	全5日16クラス	出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル	目標値	900
		県内小学校		実績値	442
17	びわ湖ホール声楽アンサンブル学校巡回公演	全5日10校	指揮：大川修司、ピアノ：寺嶋陸也、沼光絵理佳、びわ湖オール声楽アンサンブル	目標値	3,000
		県内小学校		実績値	3,357
18	バックステージツアー「びわ湖ホールまるっとステージツアー」	8月9日、1月11日	解説：びわ湖ホール舞台技術部職員	目標値	180
		大ホール		実績値	159
平成30年度の目標値、実績値				目標値	30,766
				実績値	30,488

【妥当性】

自己評価

事業計画に必要な構成要素が関連し、当初の予定通りに事業が進められているか。

当財団では、滋賀県文化振興基本方針【資料1】に掲げる基本目標「滋賀の文化力を高め、発信することで地域が元気になっていく姿」を実現するため、当財団中期経営計画【資料2】において（1）優れた舞台芸術の創造と県内外への発信、（2）次世代を担うこどもたちの創造性を育む取組の充実、（3）若手芸術家の発掘と育成・支援、（4）県民の主体的な文化活動の支援、（5）文化芸術の力を活かした地域活性化の5つの基本方針として、これらが複合的に事業を展開しています。これらを踏まえ「びわ湖ホール三方よし創造実践事業」では、①舞台芸術の創造・発信、②舞台芸術にかかわる人材育成、③舞台芸術に親しむ観客の創造をアウトカムとして、2018年度は、計画どおり18事業に取り組みました。①舞台芸術の創造・発信では、オペラの自主制作のほか、国際的水準のバレエやダンスなどの実演芸術を上演することを通じ、県内外に舞台芸術を創造発信するとともに、その水準向上および継承、ノウハウの蓄積を図りました。②舞台芸術にかかわる人材育成では、「指揮者セミナー」や「声楽曲研修」により、若手実演家の育成を図り、日本のオペラ界を支える人材の育成に貢献するとともに、「舞台技術研修」により舞台スタッフの育成を図りました。③舞台芸術に親しむ観客の創造では、小学生を招待してオーケストラ公演を行う「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」や、アウトリーチとして「学校巡回公演」、「ふれあい音楽教室」を実施することにより、将来に向け舞台芸術に親しむ観客の創造につなげました。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

びわ湖ホールは、四面舞台をはじめとする優れた舞台機能を有し、年間に複数本のオペラを自主制作する国内でも数少ない劇場の一つです。優れた舞台芸術を次の世代に継承していくためには、こうした自主制作を継続し、舞台制作技術の水準の維持・向上および継承、ノウハウを蓄積していくことが必要不可欠ですが、オペラの自主制作にはその制作資金の確保と舞台芸術にかかわる人材の育成が課題となっています。従って、助成の活用や寄付金により制作資金を確保するとともに、実演家や舞台スタッフの育成を図っていく必要があります。びわ湖ホールでは、こうした舞台芸術を担う人材の育成として、ホール専属の声楽家集団「びわ湖ホール声楽アンサンブル」【資料3】を運営しており、厳しいオーディションを経て採用されたメンバーが最長5年間の在籍中にホールでの出演等を通じて経験を積むことにより、若手声楽家の育成を図っています。また、人材が不足しがちなオペラ指揮者を育成するために、プロのオーケストラやオペラ歌手を前に学ぶ「指揮者セミナー」の開催により、世界的にも貴重な機会を提供しています。さらに、舞台技術研修では、舞台の進行管理、舞台音響、映像デザインなど、実際の舞台作品制作の実演を通じて、舞台技術スタッフの育成を図っています。また、普及事業にも力を入れており、特に、小学生をホールに招待して公演を行う「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」は特別支援学校をはじめ心身に障がいを抱えたり、いじめ等で不登校の子どもたち、学校教育の枠組みの外にある日系ブラジル人学校等にも広く参加を呼びかけて、社会包摂としても意義のある普及活動であると考えています。このほかにも、「学校巡回公演」や「ふれあい音楽教室」といったアウトリーチや、県内ホールと連携した「地域連携公演」による市町ホールの活性化、アマチュアの音楽家を募り公演を実施する「アンサンブルの楽しみ～演奏家のつどい～」や「ジルヴェスター・コンサート」の一般合唱やファンファーレ隊の一般公募等による県民の文化活動への参加促進、「気軽にクラシック」や「ロビーコンサート」等の低料金もしくは無料の公演を実施することにより、舞台芸術に親しむ観客の創造を図っています。

【有効性】

自己評価

目標が達成し、アウトカムの発現は可能か。

「①舞台芸術の創造・発信」として、プロデュースオペラ「ジークフリート」を新制作・上演したほか、計4演目のオペラを上演し、国内外に国際水準の舞台芸術を創造発信しました。この他にも、「英国バーミンガムロイヤルバレエ」などの海外招聘公演、「ジルヴェスター・コンサート」など自主制作公演など計74公演を上演し、鑑賞機会の創出、舞台制作技術の水準向上および継承を図りました。

「②舞台芸術にかかわる人材育成」としては、「オペラ指揮者セミナー」で若手指揮者を、「イタリア声楽曲研修」で若手声楽家の育成を図ると同時に、共に公開で実施し広く勉強の機会を提供しました。また、「舞台技術研修」では、実際の舞台作品制作の実演を通じて、舞台技術スタッフの育成を図りました。さらに、びわ湖ホール声楽アンサンブルの卒団者は60名となり、外部からの依頼公演も36公演【資料5】と2016年度の19公演から倍増しました。

「③舞台芸術に親しむ観客の創造」としては、県内各ホールと連携しオペラ「森は生きている」を4か所で上演し、市町ホールの活性化を図るとともに、地域の方々の合唱への参加など、県民の文化活動への参加を促進しました。また、小学生をびわ湖ホールに招待してオーケストラ公演を行う「音楽会へ出かけよう！」のほか、アウトリーチとして「学校巡回公演」や「ふれあい音楽教室」など、子どもたちが本物の音楽の素晴らしさに触れる機会を創出しました。また、無料の「ロビーコンサート」や低廉なチケット料金である「気軽にクラシック」などの実施や、青少年向けの割引料金の設定により、新しく劇場に足を運んでいただけるお客様の開拓に努めました。

助成活動における入場者数および入場率ともに目標をほぼ達成しており、公演アンケートにおける「良かった」以上の割合は96.8%【資料6】であったことから、多くのお客様から高い評価を得られたことが伺えます。

【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

平成30年度は5年間の事業計画の1年目であり、全18事業を計画どおり実施しました。実施した事業の中には、プロデュースオペラやジルヴェスター・コンサートのようにびわ湖ホールが20年かけて蓄積してきたノウハウを基礎として、毎年ブラッシュアップをしながら公演を継続してきたものがあります。毎年継続して公演することによって、これまでの技術・ノウハウを継承しつつも、新しい技術を取り入れ、よりよい公演に進化させていくことができるとともに、こうした事業に継続的に取り組むことにより、新たな観客の創造にもつながっていきます。今回の5年間の事業期間においても、新しい取組に挑戦しつつ、技術・ノウハウを蓄積し次代に継承するとともに、舞台芸術に親しむ観客の創造を図っていきたいと考えております。

また、事業費の積算において、オペラが他の分野の事業費と比べて大きくなる要因として、作品の上演に高度な演奏技術と演技力が要求され、長時間に及ぶ稽古が必要となり、その間、演奏家や、多くの舞台スタッフが拘束されることや、今回のプロデュースオペラの制作のように作曲家の意図や世界観を楽譜に忠実に反映するために、緻密な舞台美術の製作や、プロジェクションマッピングなどの最新技術による表現方法を導入していることが挙げられます。事業の効率的な実施のため、事業費の抑制に努めているところですが、一方で長期間の稽古や舞台美術の製作は技術の伝承に欠かせないものであるとともに、最新技術のオペラへの導入は、表現方法の可能性への投資であり、さまざまな分野での今後の費用の逡減に資するものであり、必要な経費であると考えております。また、劇場間のネットワークを活かし海外招聘公演を複数の館で連携して実施することによって、渡航費など1館あたりの経費の負担を減らすなどの事業費の抑制にも努めています。

【創造性】

自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性等に優れている（と認められる）か。

びわ湖ホールでは、「最高峰の劇場を目指していく」、「親しみやすい劇場を目指していく」という2つの方向性を踏まえ、自主制作による創造活動を基礎にしながら、県民をはじめ多くの方に国際水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来場していただけることを目指して、多彩なジャンルにわたって質の高い特色ある事業を実施しています。当ホールの自主公演については、世界の第一線で活躍する指揮者である沼尻竜典を芸術監督として迎え【資料9】、プロデュースオペラとして2016年から4年をかけて新制作しているワーグナー作曲＜ニーベルングの指環＞全四部作といったフラッグシップ公演の企画や、自らが講師を務める「オペラ指揮者セミナー」、2018年度からスタートした「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」など特徴ある公演について、芸術面からのアドバイスをすることで、オリジナリティと高い水準が確保された公演が実施できています。また、当ホール専属の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」は、満30歳以下の若手を対象とした厳しいオーディションを経て選ばれたプロの声楽家集団であり、メンバーは最長5年間の在籍中に、第一線で活躍する指揮者、演出家、演奏家の指導のもと、事業計画に掲げる自主制作オペラや定期公演への出演、学校へのアウトリーチ事業等、数多くの本番で経験を積むことで、人材の育成にもなっており、卒団後も「びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー」として、それぞれが声楽家として国内外で活躍しています。2019年度当初でソロ登録メンバーは60名【資料7】おり、びわ湖ホールの自主公演への出演のほか、地域の様々な催しや学校、企業、福祉施設の依頼公演へ出演するなど、びわ湖ホールの創造活動の核となっています。

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

5か年計画では、びわ湖ホール「三方よし」の実現を目指し、3つの目標を持ち事業に取り組んでいるところです。1つ目が「舞台芸術の創造・発信」であり、最も力を入れているプロデュースオペラの制作では、楽譜に忠実であることを信念とするミヒヤエル・ハンペの演出は、プロジェクションマッピングなど最新の技術を駆使し、非常に美しく、物語の世界を壮大に表現しながらも従来のオペラファンだけでなくビギナーにもわかりやすい、万人に開かれた舞台となり、非常に高く評価されました。【資料10】また、2つ目の「舞台芸術を支える人材の育成」として実施した「オペラ指揮者セミナー」は、世界的にも珍しいオペラ指揮者に特化したセミナーであり、国内外からの注目度も高く、受講生、聴講生は海外を含め各地から集まりました。3つ目の「舞台芸術に親しむ観客の創造」では、2016年から3年をかけて、地域協働公演「森は生きている」を県内全域で上演し、地域合唱団の出演や小道具制作ワークショップへの参加は、地域ホールと地域住民の「つながり」や市町ホールを中心とした地域の盛り上がりの醸成に寄与しました。また、びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！（ホールの子事業）では、県内の小学校や特別支援学校、日系ブラジル人学校の生徒たちをオーケストラ公演に招待しました。参加者は年々増えており、8年目となった2018年度は8,544人の参加者があり、また、2019年度には初めて10,000人を超えました。さらにこの事業は多くのメディアに取り上げられるとともに、他府県のホールからの視察も多く受け入れています。また、事業の核となる「びわ湖ホール声楽アンサンブル」への評価も前述の事業や学校巡回公演、ふれあい音楽教室、ロビーコンサートなどの普及事業を通じて地域での評価を高めています。

【持続性】

自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。
持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

劇場間のネットワークを活かして、共同で公演の制作を行うことによって、事業費の縮減やノウハウの共有を行っています。2018年度には新国立劇場と公演連携、人材交流・育成を目的に連携協定を締結しオペラ公演や人材交流を行いました。【資料11】また、日生劇場と連携し、「オペラセレクション」および高校生招待公演を開催しました。さらに、彩の国さいたま芸術劇場や北九州芸術劇場とともに『フィリップ・ドゥクフレ/DCA 新作短編集2017』を海外招聘公演として実施するなど、他館と連携した事業を行いました。

また、次代の舞台芸術を担う人材を育成するため、ホール内での技術継承とともに、当ホールが主催し、滋賀や京都の大学も参加する舞台技術研修の実施や、一般財団法人地域創造が開催しているステージラボの開催館となるなど、将来ホールの運営を担う人材の育成に力を入れています。

さらに、県南部のびわ湖ホール、北部の文化産業交流会館の2つの館の運営を担うびわ湖芸術文化財団では県全域の文化振興を担うため、財団内の人事異動による組織の活性化や新規職員の積極的な採用により、将来に向けて事業継続が可能となる組織体制の強化を行っています。【資料12】

また、県の指定管理を受け持続的に事業を推進するとともに、助成金の獲得、びわ湖ホール舞台芸術基金【資料13】、オフィシャルスポンサー制度、特別会員制度等の活用や、企業協賛など、新たな財源の確保についても積極的に行っています。【資料14】

併せて、劇場サポーターとして、びわ湖ホールを応援いただける方を広く募集し、これまで第1期から第23期までで通算112名の方に、講座や公演でのボランティアなどの活動にご参加いただいております。これらにより、びわ湖ホールの役割を地域の皆様に理解いただき、滋賀県にびわ湖ホールがあって良かったと思っただけのような土壌を形成していきたいと考えております。